



随時



岡山市広報連絡資料

令和7年10月30日

腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について

1 発生日

発生 令和7年10月20日(月) 速報 令和7年10月30日(木)

2 患者数

1名(女、20代)

3 概要

(1) 経過

10月20日(月) 患者(岡山市)は、泥状便の症状を呈した。

10月23日(木) 患者は血便及び腹痛の症状を呈し、岡山市内医療機関(病院)を受診。

10月24日(金) 患者は症状が改善しないため、岡山市内医療機関(病院)を受診し、同日入院。

10月28日(火) 検査の結果、腸管出血性大腸菌(O157)によるベロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2) その他

- ・患者の症状は軽症化している。
- ・感染源は不明。
- ・現在のところ散発事例と考えている。

4 参考(患者発生状況)

区分	令和7年1月1日から
岡山市	23人
県内(岡山市を除く。)	49人
県内合計	72人

(岡山市の前年同時期の発生状況:18人)

◎報道に関しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。

◎岡山県は7月30日に県下全域に「腸管出血性大腸菌感染症注意報」を発令しています。

※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために

手洗いの励行。(調理前、食事前、用便後)

十分な加熱。(75℃で1分間以上)

をお願いします。

【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 宮井・坂上 直通086-803-1251 内線5751



随時



岡山市広報連絡資料

令和7年9月8日

腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について

1 発生日

発生 令和7年8月23日(土) 速報 令和7年9月8日(月)

2 患者数

1名(女、幼児)

3 概要

(1) 経過

- 8月23日(土) 患者(岡山市)は、水様便の症状を呈した。
8月26日(火) 患者は症状が改善しないため、岡山市内医療機関(診療所)を受診。
9月3日(水) 患者は血便及び腹痛の症状を呈し、岡山市内医療機関(診療所)を受診。
9月7日(日) 検査の結果、腸管出血性大腸菌(O26)によるベロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2) その他

- ・患者の症状は軽症化している。
- ・感染源は不明。
- ・現在のところ散発事例と考えている。

4 参考(患者発生状況)

区分	令和7年1月1日から
岡山市	20人
県内(岡山市を除く。)	34人
県内合計	54人

(岡山市の前年同時期の発生状況:17人)

- ◎報道に関しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。
◎岡山県は7月30日に県下全域に「腸管出血性大腸菌感染症注意報」を発令しています。
※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために

手洗いの励行。(調理前、食事前、用便後)
十分な加熱。(75℃で1分間以上)

をお願いします。

【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 宮井・坂上 直通086-803-1251 内線5751



随時



岡山市広報連絡資料

令和7年9月2日

腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について

1 発生日

発生 令和7年8月22日(金) 速報 令和7年9月2日(火)

2 患者数

1名(男、50代)

3 概要

(1) 経過

- 8月22日(金) 患者(岡山市)は、軟便及び腹痛の症状を呈した。
- 8月23日(土) 患者は血便の症状を呈し、岡山市内医療機関(診療所)を受診。
同日、岡山市外医療機関(診療所)を受診。
- 8月25日(月) 患者は症状が改善しないため、岡山市外医療機関(診療所)を受診。
- 8月30日(土) 検査の結果、腸管出血性大腸菌(O157)によるベロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2) その他

- ・患者の症状は消失している。
- ・感染源は不明。
- ・現在のところ散発事例と考えている。

4 参考(患者発生状況)

区分	令和7年1月1日から
岡山市	19人
県内(岡山市を除く。)	32人
県内合計	51人

(岡山市の前年同時期の発生状況:17人)

- ◎報道に関しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。
◎岡山県は7月30日に県下全域に「腸管出血性大腸菌感染症注意報」を発令しています。
※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために

手洗いの励行。(調理前、食事前、用便後)
十分な加熱。(75℃で1分間以上)

をお願いします。

【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 宮井・坂上 直通086-803-1251 内線5751



随時



岡山市広報連絡資料

令和7年9月1日

腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について

1 発生日

発生 令和7年8月23日(土) 速報 令和7年9月1日(月)

2 患者数

1名(女、小学生)

3 概要

(1) 経過

- 8月23日(土) 患者(備北保健所新見支所管内)は、発熱の症状を呈した。
- 8月24日(日) 患者は水様便及び腹痛の症状を呈した。
- 8月25日(月) 患者は症状が改善しないため、岡山市外医療機関(病院)を受診。
- 8月26日(火) 患者は岡山市内医療機関(病院)へ入院。
- 8月28日(木) 検査の結果、腸管出血性大腸菌(O157)によるベロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2) その他

- ・患者は入院中であり、症状は継続中である。
- ・感染源は不明。
- ・現在のところ散発事例と考えている。

4 参考(患者発生状況)

区分	令和7年1月1日から
岡山市	18人
県内(岡山市を除く。)	32人
県内合計	50人

(岡山市の前年同時期の発生状況:16人)

- ◎報道に関しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。
- ◎岡山県は7月30日に県下全域に「腸管出血性大腸菌感染症注意報」を発令しています。
- ※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために

手洗いの励行。(調理前、食事前、用便後)

十分な加熱。(75℃で1分間以上)

をお願いします。

【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 宮井・坂上 直通086-803-1251 内線5751



随時



岡山市広報連絡資料

令和7年8月14日

腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について（2）

1 発生日

発生 令和7年8月8日(金) 速報 令和7年8月14日(木)

2 患者数

1名（男、50代）

3 概要

(1) 経過

8月8日(金) 患者(備前保健所東備支所管内)は、軟便及び腹痛の症状を呈した。

8月9日(土) 患者は発熱及び血便の症状を呈し、岡山市内医療機関(診療所)を受診。
同日、岡山市内医療機関(病院)へ入院。

8月13日(水) 検査の結果、腸管出血性大腸菌(O157)によるベロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2) その他

- ・患者は入院中だが、症状は軽症化している。
- ・感染源は不明。
- ・現在のところ散発事例と考えている。

4 参考(患者発生状況)

区分	令和7年1月1日から
岡山市	14人
県内(岡山市を除く。)	21人
県内合計	35人

(岡山市の前年同時期の発生状況:15人)

- ◎報道に関しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。
- ◎岡山県は7月30日に県下全域に「腸管出血性大腸菌感染症注意報」を発令しています。
- ※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために

手洗いの励行。(調理前、食事前、用便後)
十分な加熱。(75℃で1分間以上)

をお願いします。

【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 宮井・坂上 直通086-803-1251 内線5751



随時



岡山市広報連絡資料

令和7年8月14日

腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について（1）

1 発生日

発生 令和7年8月5日(火) 速報 令和7年8月14日(木)

2 患者数

1名（男、80代）

3 概要

(1) 経過

- 8月5日(火) 患者(岡山市)は、水様便及び腹痛の症状を呈した。
- 8月7日(木) 患者は症状が改善しないため、岡山市内医療機関(診療所)を受診。
- 8月8日(金) 患者は症状が改善しないため、岡山市内医療機関(診療所)を受診。
同日、岡山市内医療機関(病院)へ入院。
- 8月13日(水) 検査の結果、腸管出血性大腸菌(O157)によるベロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2) その他

- ・患者は入院中だが、症状は軽症化している。
- ・感染源は不明。
- ・現在のところ散発事例と考えている。

4 参考(患者発生状況)

区分	令和7年1月1日から
岡山市	13人
県内(岡山市を除く。)	21人
県内合計	34人

(岡山市の前年同時期の発生状況:15人)

- ◎報道に関しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。
◎岡山県は7月30日に県下全域に「腸管出血性大腸菌感染症注意報」を発令しています。
※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために

手洗いの励行。(調理前、食事前、用便後)

十分な加熱。(75℃で1分間以上)

をお願いします。

【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 宮井・坂上 直通086-803-1251 内線5751



随時



岡山市広報連絡資料

令和7年7月30日

腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について

1 発生日

発生 令和7年7月16日(水) 速報 令和7年7月30日(水)

2 患者数

1名(男、20代)

3 概要

(1) 経過

- 7月16日(水) 患者(岡山市)は、発熱の症状を呈した。
- 7月18日(金) 患者は血便及び腹痛の症状を呈した。
- 7月19日(土) 患者は症状が改善しないため、岡山市内医療機関(診療所)を受診し、同日、岡山市内医療機関(病院)を受診。
- 7月29日(火) 検査の結果、腸管出血性大腸菌(O9)によるベロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2) その他

- ・患者の症状は消失している。
- ・感染源は不明。
- ・現在のところ散発事例と考えている。

4 参考(患者発生状況)

区分	令和7年1月1日から
岡山市	12人
県内(岡山市を除く。)	20人
県内合計	32人

(岡山市の前年同時期の発生状況:12人)

- ◎報道に関しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。
◎岡山県は7月30日に県下全域に「腸管出血性大腸菌感染症注意報」を発令しています。
※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために

手洗いの励行。(調理前、食事前、用便後)

十分な加熱。(75℃で1分間以上)

をお願いします。

【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 宮井・坂上 直通086-803-1251 内線5751



随時



岡山市広報連絡資料

令和7年7月29日

腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について

1 発生日

発生 令和7年7月21日(月) 速報 令和7年7月29日(火)

2 患者数

1名(女、30代)

3 概要

(1) 経過

- 7月21日(月) 患者(岡山市)は、水様便及び腹痛の症状を呈した。
7月22日(火) 患者は症状が改善しないため、岡山市内医療機関(診療所)を受診。
7月28日(月) 検査の結果、腸管出血性大腸菌(O103)によるベロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2) その他

- ・患者の症状は消失している。
- ・感染源は不明。
- ・現在のところ散発事例と考えている。

4 参考(患者発生状況)

区分	令和7年1月1日から
岡山市	11人
県内(岡山市を除く。)	19人
県内合計	30人

(岡山市の前年同時期の発生状況:12人)

◎報道に関しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。

※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために

手洗いの励行。(調理前、食事前、用便後)

十分な加熱。(75℃で1分間以上)

をお願いします。

【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 宮井・坂上 直通086-803-1251 内線5751



随時



岡山市広報連絡資料

令和7年7月22日

腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について

1 発生日

発生 令和7年7月15日(火) 速報 令和7年7月22日(火)

2 患者数

1名(男、小学生)

3 概要

(1) 経過

7月15日(火) 患者(岡山市)は、軟便及び腹痛の症状を呈した。
7月16日(水) 患者は血便及び発熱の症状を呈し、岡山市内医療機関(診療所)を受診。
7月19日(土) 検査の結果、腸管出血性大腸菌(O103)によるベロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2) その他

- ・患者の症状は軽症化している。
- ・感染源は不明。
- ・現在のところ散発事例と考えている。

4 参考(患者発生状況)

区分	令和7年1月1日から
岡山市	10人
県内(岡山市を除く。)	17人
県内合計	27人

(岡山市の前年同時期の発生状況:12人)

◎報道に関しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。

※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために

手洗いの励行。(調理前、食事前、用便後)

十分な加熱。(75℃で1分間以上)

をお願いします。

【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 宮井・坂上 直通086-803-1251 内線5751



随時



岡山市広報連絡資料

令和7年7月16日

腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について

1 発生日

発生 令和7年7月3日(木) 速報 令和7年7月16日(水)

2 患者数

1名(女、50代)

3 概要

(1) 経過

7月3日(木) 患者(岡山市)は、嘔吐及び発熱の症状を呈した。

7月6日(日) 患者は定期検便を行った。

7月15日(火) 検査の結果、腸管出血性大腸菌(O8)によるベロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2) その他

- ・患者の症状は消失している。
- ・感染源は不明。
- ・現在のところ散発事例と考えている。

4 参考(患者発生状況)

区分	令和7年1月1日から
岡山市	9人
県内(岡山市を除く。)	16人
県内合計	25人

(岡山市の前年同時期の発生状況:17人)

◎報道に関しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。

※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために

手洗いの励行。(調理前、食事前、用便後)

十分な加熱。(75℃で1分間以上)

をお願いします。

【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 宮井・坂上 直通086-803-1251 内線5751



随時



岡山市広報連絡資料

令和7年6月6日

腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について

1 発生日

発生 令和7年5月28日(水) 速報 令和7年6月6日(金)

2 患者数

1名(男、小学生)

3 概要

(1)経過

- 5月28日(水) 患者(岡山市)は、水様便、腹痛及び発熱の症状を呈した。
5月31日(土) 患者は症状が改善しないため、岡山市内医療機関(診療所)を受診。
6月5日(木) 検査の結果、腸管出血性大腸菌(O型不明)によるベロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2)その他

- ・患者の症状は軽症化している。
- ・感染源は不明。
- ・現在のところ散発事例と考えている。

4 参考(患者発生状況)

区分	令和7年1月1日から
岡山市	8人
県内(岡山市を除く。)	9人
県内合計	17人

(岡山市の前年同時期の発生状況:5人)

◎報道に関しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。

※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために

手洗いの励行。(調理前、食事前、用便後)

十分な加熱。(75℃で1分間以上)

をお願いします。

【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 宮井・坂上 直通086-803-1251 内線5751



随時



岡山市広報連絡資料

令和7年5月27日

腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について

1 発生日

発生 令和7年5月18日(日) 速報 令和7年5月27日(火)

2 患者数

1名(男、30代)

3 概要

(1) 経過

- 5月18日(日) 患者(岡山市)は、腹痛の症状を呈した。
5月19日(月) 患者は血便及び腹痛の症状を呈し、岡山市内医療機関(診療所)を受診。
5月26日(月) 検査の結果、腸管出血性大腸菌(O26)によるベロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2) その他

- ・患者の症状は軽症化している。
- ・感染源は不明。
- ・現在のところ散発事例と考えている。

4 参考(患者発生状況)

区分	令和7年1月1日から
岡山市	7人
県内(岡山市を除く。)	9人
県内合計	16人

(岡山市の前年同時期の発生状況:4人)

◎報道に関しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。

※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために

手洗いの励行。(調理前、食事前、用便後)

十分な加熱。(75℃で1分間以上)

をお願いします。

【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 宮井・坂上 直通086-803-1251 内線5751



随時



岡山市広報連絡資料

令和7年4月18日

腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について

1 発生日

発生 令和7年4月7日(月) 速報 令和7年4月18日(金)

2 患者数

1名(女、20代)

3 概要

(1) 経過

4月7日(月) 患者(岡山市)は、定期検査を行った。また、腹痛及び軟便の症状を呈した。
4月17日(木) 検査の結果、腸管出血性大腸菌(O91)によるベロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2) その他

- ・患者の症状は消失している。
- ・感染源は不明。
- ・現在のところ散発事例と考えている。

4 参考(患者発生状況)

区分	令和7年1月1日から
岡山市	4人
県内(岡山市を除く。)	6人
県内合計	10人

(岡山市の前年同時期の発生状況:3人)

◎報道に関しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。

※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために

手洗いの励行。(調理前、食事前、用便後)

十分な加熱。(75℃で1分間以上)

をお願いします。

【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 宮井・坂上 直通086-803-1251 内線5751



随時



岡山市広報連絡資料

令和7年1月21日

腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について

1 発生日

発生 令和7年1月10日(金) 速報 令和7年1月21日(火)

2 患者数

1名(男、幼児)

3 概要

(1) 経過

- 1月10日(金) 患者(岡山市)は、軟便の症状を呈した。
1月11日(土) 患者(岡山市)は、血便の症状を呈した。
1月14日(火) 患者は症状が改善しないため、岡山市内医療機関(診療所)を受診。
1月20日(月) 検査の結果、腸管出血性大腸菌(O157)によるベロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2) その他

- ・患者の症状は軽症化している。
- ・感染源は不明。
- ・現在のところ散発事例と考えている。

4 参考(患者発生状況)

区分	令和7年1月1日から
岡山市	2人
県内(岡山市を除く。)	1人
県内合計	3人

(岡山市の前年同時期の発生状況:0人)

◎報道に関しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。

※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために

手洗いの励行。(調理前、食事前、用便後)

十分な加熱。(75℃で1分間以上)

をお願いします。

【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 森・山本 直通086-803-1251 内線5751



随時



岡山市広報連絡資料

令和7年1月20日

腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について

1 発生日

発生 令和7年1月4日(土) 速報 令和7年1月20日(月)

2 患者数

1名(男、小学生)

3 概要

(1) 経過

- 1月4日(土) 患者(岡山市)は、発熱の症状を呈した。
- 1月6日(月) 患者(岡山市)は、血便及び腹痛の症状を呈した。
- 1月7日(火) 患者は症状が改善しないため、岡山市内医療機関(診療所)を受診。
- 1月9日(木) 患者は症状が改善しないため、岡山市内医療機関(診療所)を受診し、同日、岡山市内医療機関(病院)へ入院。
- 1月16日(木) 検査の結果、腸管出血性大腸菌(O157)によるベロ毒素産生が確認された。
- 1月17日(金) 岡山市保健所に届出。

(2) その他

- ・患者は退院しており、症状は消失している。
- ・感染源は不明。
- ・現在のところ散発事例と考えている。

4 参考(患者発生状況)

区分	令和7年1月1日から
岡山市	1人
県内(岡山市を除く。)	0人
県内合計	1人

(岡山市の前年同時期の発生状況:0人)

◎報道に関しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。

※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために

手洗いの励行。(調理前、食事前、用便後)

十分な加熱。(75°Cで1分間以上)

をお願いします。

【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 森・山本 直通086-803-1251 内線5751